

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL(0791)23-0800



HPのQRコード

44回生自然科学コース 大学訪問・工業技術センター研修

11月22日(月)に2年自然科学コースは大学訪問と工業技術センター研修へ行きました。

大学訪問は関西大学システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部を訪問し、5班に分かれて研究室で教授や大学院の学生の方から、大学でのキャンパスライフや、大学院生の方が取り組んでいる研究内容の説明を聞きました。中には研究成果のVRシステムや顔認証装置を実際に体験させて頂いた班もありました。また、最後には本校の3回生であり、関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科(※2022年度入学生より、エネルギー・環境工学科は「エネルギー環境・化学工学科」に名称変更します。)の池永直樹教授から励ましのお言葉も頂きました。



兵庫県立工業技術センターでは、3班に分かれて様々な実験装置を見学し、実験装置の説明や実際に行われている実験などを伺いました。PCや電子顕微鏡と集束イオンビーム、ラピッドプロトタイプングマシンなど、最先端の研究に触れることができました。



芸術鑑賞会

本校では3年に一度、芸術鑑賞会を開催しています。今年はその3年に一度の年で、11月24日(水)、体育館にて「岡本知高ソプラニスタ・コンサート」を鑑賞しました。

男性でありながら女性ソプラノの音域を持つ唯一無二の岡本さんの歌声が体育館に響き渡りました。オペラをはじめ日本唱歌からポップス、宗教曲まで幅広い音楽を届けてくださり、会場では鳥肌が立つほどの体験と思わず涙ぐむほどの感動に包まれました。岡本さんのお人柄に触れ、そのメッセージを感じ、受け止め、生徒たちにとって大きなエールとなったこと

は間違いありません。悩み苦しみがながらも今後の人生をより豊かなものにしていくことを強く願っています。
遠いところお越しいただいた、ソプラニスタ岡本知高様、ピアニスト榎本潤様、スタッフの皆様、ありがとうございました。ご理解をいただき、誠にありがとうございました。
写真は都合により掲載できません。ご了承ください。

高大接続推進事業 神戸大学で留学生と話そう!

12月8日(水)午後1時より、神戸大学の留学生の方々との交流会を実施しました。この事業は兵庫県教育委員会の指定による高大接続推進事業の取組の一つとして行われ、今年で8回目の開催となります。昨年度に続き、今回も新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりました。

本年度は、本校から2年生5名が参加し、神戸大学からは4名の留学生の方々に参加していただきました。コロナ禍で留学生が少ない中、大学側の配慮により、キルギス・ベトナム・クウェート・イラン出身の留学生に協力していただき、全体会の後、約30分ずつ、相手を変え



Zoomで留学生と英会話
距離をとって実施

て2セッションの交流会を行い、日本の生活、母国文化との違い、食べ物、外国から見た日本の魅力、伝統行事、スポーツ・アニメなど様々なテーマで交流を深めました。生徒たちが外国の方々と直接話す機会は少ないので、とても貴重な体験となりました。
お世話いただいた神戸大学の皆様、参加してくださった留学生の皆様、本当に有難うございました。
12月10日(金)に1年生自然科学コース校外研修を実施しました。例年であれば、夏休みに1泊2日で、兵庫県立大学理学部への研究室訪問、岡山県牛窓での海洋体験を実施していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、残念ながら中止となりました。今回は、その代替として、理学化学研究所と西はりま天文台で光をテーマとした研修を行いました。
理学化学研究所では、原子の世界を観察するための放射光について学び、施設「Spring-8」や「SACLAR」を見学しました。Spring-8は、強力なX線をつくり出すため直径約1000mもある巨大施設ですが、



スクリーンショット
笑顔で英会話

その構内を実際に歩くことができず、所狭しと並び実験機器や一つ一つの大きさに圧倒されました。施設見学の後には、理学化学研究所の大坂さんから、「研究者とは何ぞや」と題し、研究の面白さや大変さを分かりやすく教えていただきました。
西はりま天文台での昼間の観望会では、太陽の表面や金星を観察しました。金星といえは、明けの明星、宵の明星が有名ですが、昼間の金星も素敵でした。その後、「星の明るさと色」をテーマに高橋先生にご講義いただき、星の色の明るさの関係を表したエドワーズを用い、星の大きさを推定できることをお教えたいただきました。星の明るさや色を数値化するために、複雑な概念、様々な公式が用いられていたため、全てを理解することはできませんでしたが、星の研究の壮大さを知ることができました。そして夜には、世界最大級の公開望遠鏡「なゆた」で、木星や天王星などを観察しました。

